

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【公開番号】特開2014-230712(P2014-230712A)

【公開日】平成26年12月11日(2014.12.11)

【年通号数】公開・登録公報2014-068

【出願番号】特願2013-114116(P2013-114116)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成27年7月24日(2015.7.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

第1の始動入球手段と、

前記第1の始動入球手段への遊技球の入球を契機として、第1の変動ゲームの実行を保留する第1保留記憶手段と、

遊技球の入球を許容する開放状態及び遊技球の入球を許容しない閉鎖状態に変位可能な第2の始動入球手段と、

前記第2の始動入球手段への遊技球の入球を契機として、第2の変動ゲームの実行を保留する第2保留記憶手段と、

前記第1の変動ゲームの実行が保留されている場合、前記実行が保留されている第1の変動ゲームの実行を開始させる第1のゲーム実行制御手段と、

前記第2の変動ゲームの実行が保留されている場合、前記第1の変動ゲームの実行が保留されていないことを条件に、前記実行が保留されている第2の変動ゲームの実行を開始させる第2のゲーム実行制御手段と、

前記第1の変動ゲームを抽選対象として第1の大当たり抽選を行う第1の大当たり抽選手段と、

前記第2の変動ゲームを抽選対象として第2の大当たり抽選を行う第2の大当たり抽選手段と、

前記第1の大当たり抽選の当選対象となった第1の変動ゲーム終了後及び前記第2の大当たり抽選の当選対象となった第2の変動ゲーム終了後、大当たり遊技を生起させる大当たり遊技生起手段と、

前記大当たり遊技終了後、前記第2の始動入球手段への遊技球の入球率が通常よりも高確率となる入球率向上状態を生起させる入球率向上状態生起手段と、

前記大当たり遊技終了後の演出実行手段における報知演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、

実行が保留されている第1の変動ゲームと実行が保留されている第2の変動ゲームのそれぞれがある場合、前記第2の変動ゲームは、全ての第1の変動ゲームが実行された後に実行され、

前記入球率向上状態生起手段は、前記第2の大当たり抽選の当選を契機として生起された大当たり遊技終了後には、前記第1の大当たり抽選の当選を契機として生起された大当たり遊技

終了後よりも高確率で前記入球率向上状態を生起させ、

前記演出制御手段は、前記大当たり遊技終了後、入球率向上状態が生起されているときであって前記第1の変動ゲームの実行中、第1の変動ゲームが実行されていることを報知する報知演出の実行を制御することを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記課題を解決する遊技機は、第1の始動入球手段と、前記第1の始動入球手段への遊技球の入球を契機として、第1の変動ゲームの実行を保留する第1保留記憶手段と、遊技球の入球を許容する開放状態及び遊技球の入球を許容しない閉鎖状態に変位可能な第2の始動入球手段と、前記第2の始動入球手段への遊技球の入球を契機として、第2の変動ゲームの実行を保留する第2保留記憶手段と、前記第1の変動ゲームの実行が保留されている場合、前記実行が保留されている第1の変動ゲームの実行を開始させる第1のゲーム実行制御手段と、前記第2の変動ゲームの実行が保留されている場合、前記第1の変動ゲームの実行が保留されていないことを条件に、前記実行が保留されている第2の変動ゲームの実行を開始させる第2のゲーム実行制御手段と、前記第1の変動ゲームを抽選対象として第1の大当たり抽選を行う第1の大当たり抽選手段と、前記第2の変動ゲームを抽選対象として第2の大当たり抽選を行う第2の大当たり抽選手段と、前記第1の大当たり抽選の当選対象となった第1の変動ゲーム終了後及び前記第2の大当たり抽選の当選対象となった第2の変動ゲーム終了後、大当たり遊技を生起させる大当たり遊技生起手段と、前記大当たり遊技終了後、前記第2の始動入球手段への遊技球の入球率が通常よりも高確率となる入球率向上状態を生起させる入球率向上状態生起手段と、前記大当たり遊技終了後の演出実行手段における報知演出の実行を制御する演出制御手段と、を備え、実行が保留されている第1の変動ゲームと実行が保留されている第2の変動ゲームのそれぞれがある場合、前記第2の変動ゲームは、全ての第1の変動ゲームが実行された後に実行され、前記入球率向上状態生起手段は、前記第2の大当たり抽選の当選を契機として生起された大当たり遊技終了後には、前記第1の大当たり抽選の当選を契機として生起された大当たり遊技終了後よりも高確率で前記入球率向上状態を生起させ、前記演出制御手段は、前記大当たり遊技終了後、入球率向上状態が生起されているときであって前記第1の変動ゲームの実行中、第1の変動ゲームが実行されていることを報知する報知演出の実行を制御することを特徴とする。